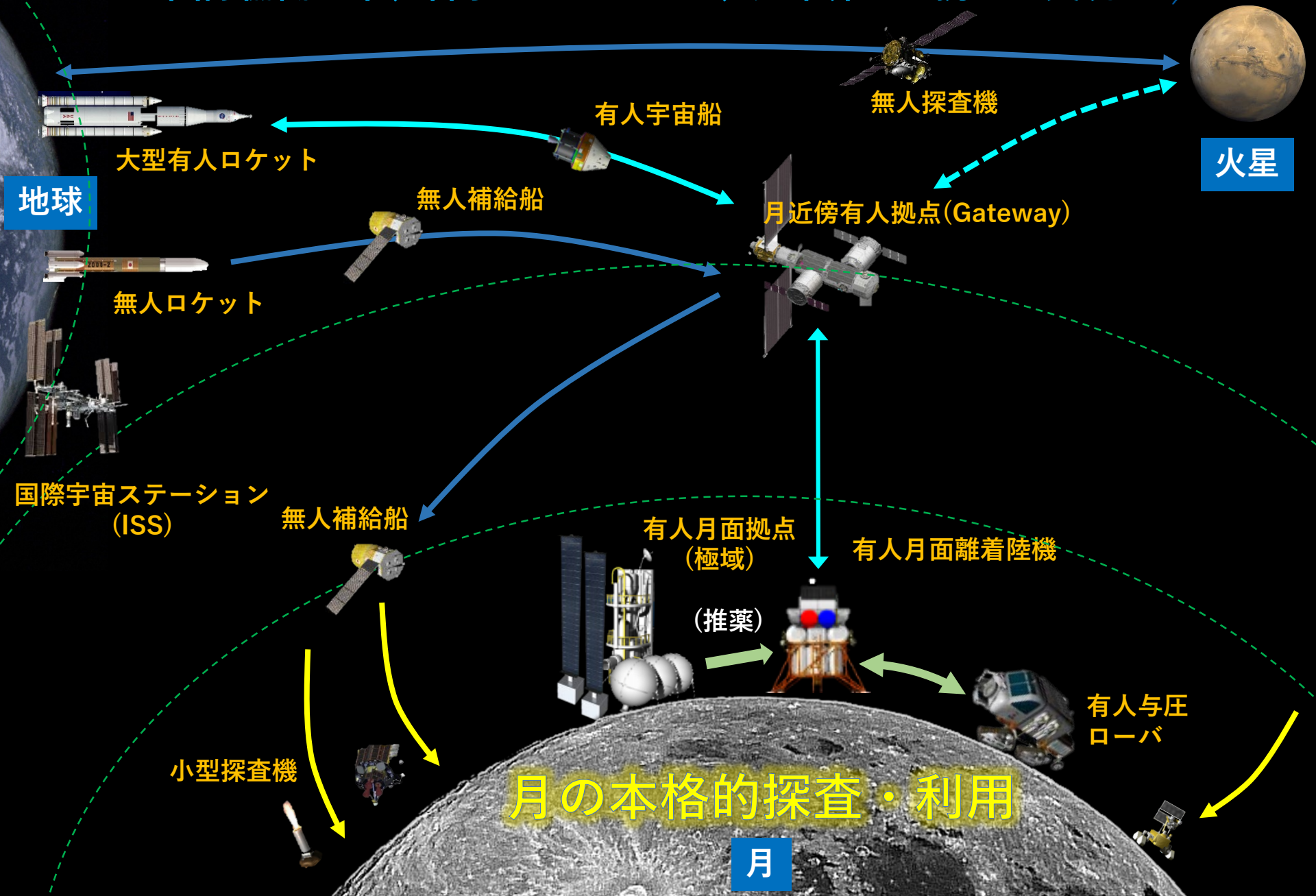


JAXAが描く国際宇宙探査のビジョン ～Explore to Realize～

- 人類の活動領域の拡大と知的資産の創出に貢献
- 国際協働の中、科学コミュニティ、産業界と連携して実現



JAXAが描く国際宇宙探査のビジョン ～月の本格的探査・利用～



探る

到達
する

作る



移動
する

“TEAM JAPAN”で挑戦

建てる

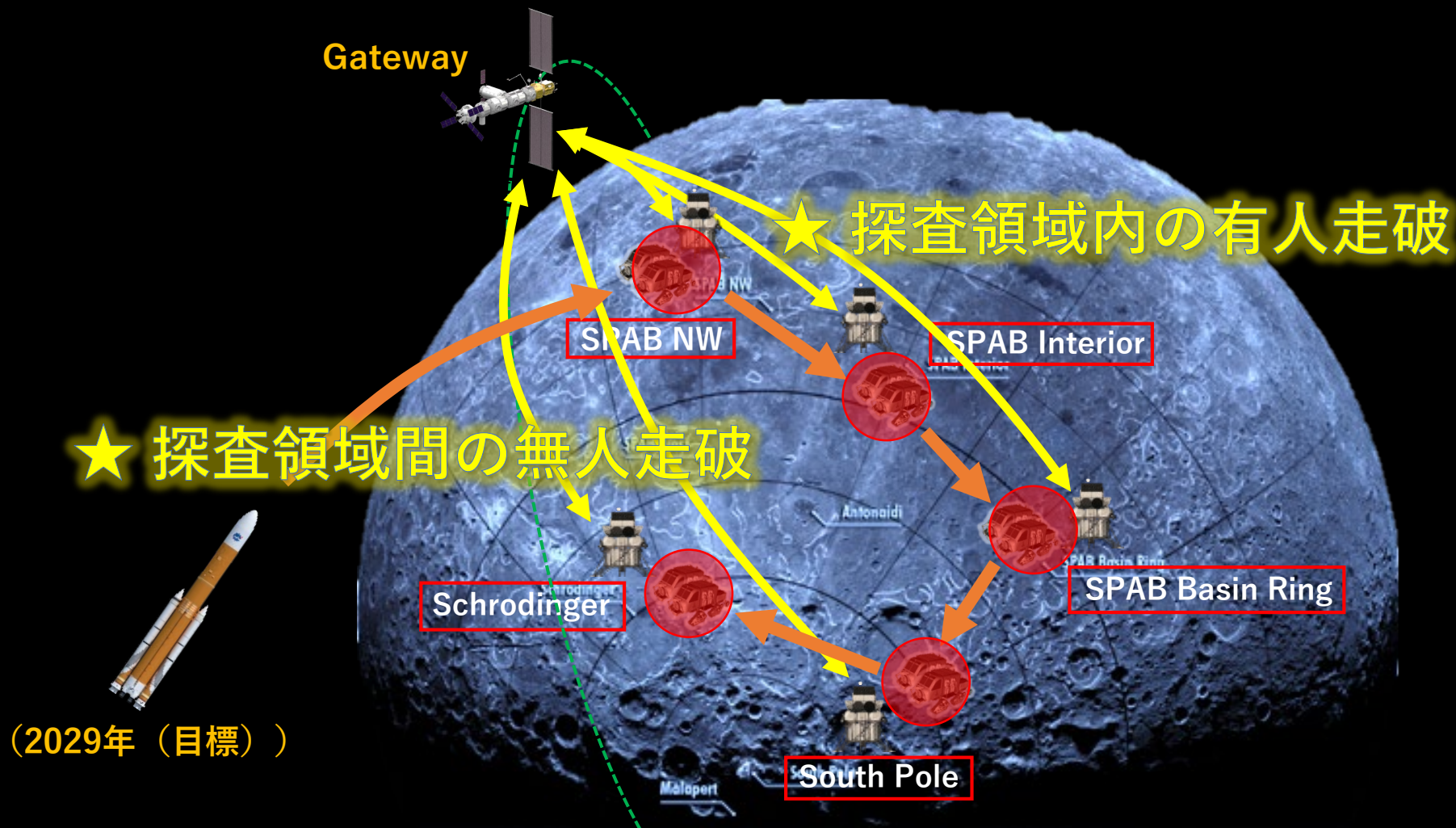
住む

有人と圧ローバ

有人と圧ローバ ミッション構想（2030年代前半）



- ◆ 探査領域：5領域（候補）
- ◆ 運用期間：2029～2034年（有人と圧ローバ2台によるタンデム運用）
- ◆ ミッション期間：42地球日（月の1回目の昼－月の夜－月の2回目の昼）



打上げ環境、月面環境への挑戦

< 打上げ環境 >

◆ 打上げロケットによる制約

- 搭載スペース： $\phi 7.5\text{m} \times 6\text{m} / 2\text{台}$
- 質量：6ton / 台

◆ 振動環境：最大4G（縦方向） 最大2G（横方向）

< 月面環境 >

◆ クレータ、丘、急斜面

◆ レゴリス

◆ 1/6重力

◆ 極高真空： $10^{-12} \sim 10^{-15}$ 気圧

◆ 熱環境： $-170^{\circ}\text{C} \sim 120^{\circ}\text{C}$

◆ 宇宙放射線

